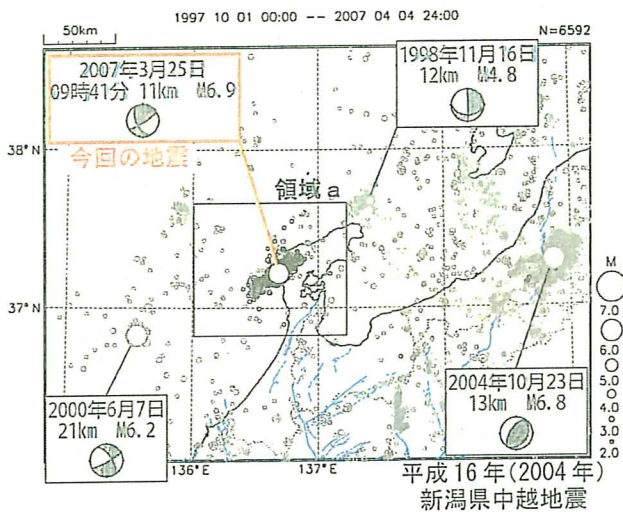
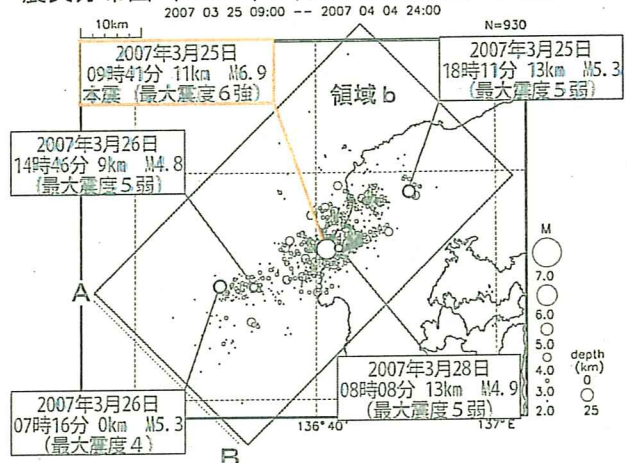


平成 19 年 (2007 年) 能登半島地震

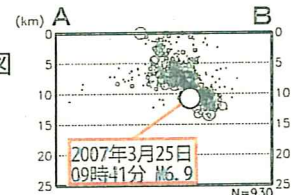
A 震央分布図 (1997 年 10 月以降、 $M \geq 2.0$)
[2007 年 3 月以降の活動を濃く表示]



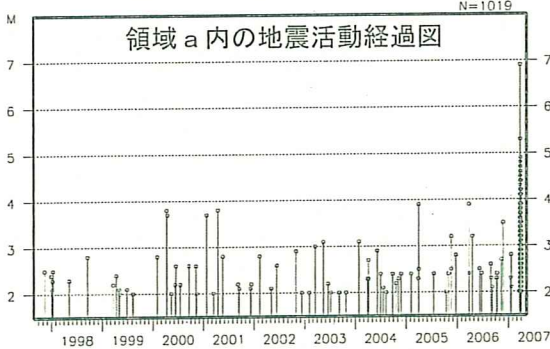
震央分布図 (2007 年 3 月 25 日 9 時以降、 $M \geq 2.0$)



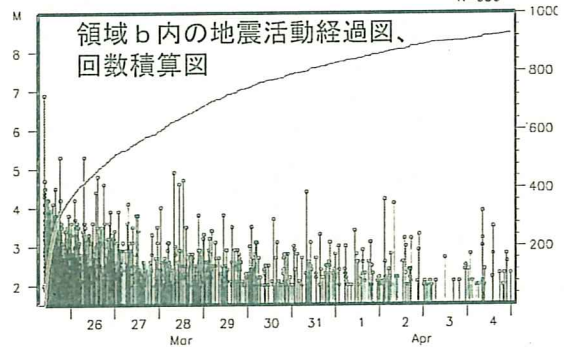
領域 b 内の断面図
(A-B 投影)



1997 10 01 00:00 -- 2007 04 04 24:00

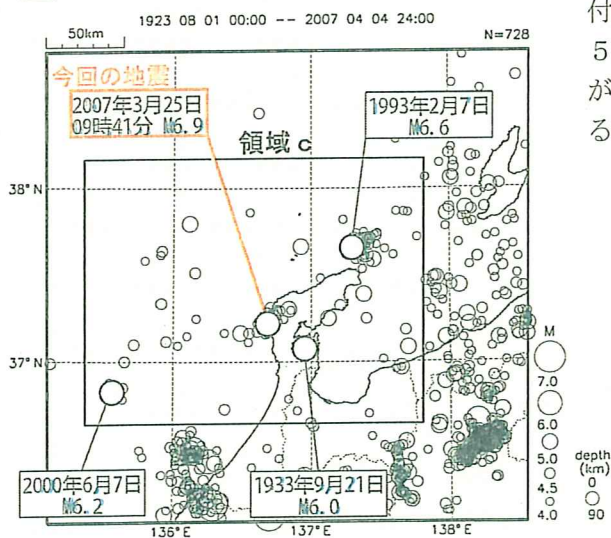


2007 03 25 09:00 -- 2007 04 04 24:00



2007 年 3 月 25 日 09 時 41 分に能登半島沖の深さ 11km で $M6.9$ (最大震度 6 強) の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型であった。地震活動は本震-余震型で推移しており、これまでの最大の余震は、25 日 18 時 11 分 (最大震度 5 弱) および、26 日 7 時 16 分 (最大震度 4) に発生した $M5.3$ の地震である。(A)

B 震央分布図 (1923 年 8 月以降、 $M \geq 4.0$)



1923 年 8 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、最近では 1993 年 2 月 7 日に $M6.6$ (最大震度 5)、2000 年 6 月 7 日に $M6.2$ (最大震度 5 弱) の地震が発生するなど、 $M6.0$ 以上の地震が 4 回観測されているが、今回の地震が最大規模である。(B)

1923 08 01 00:00 -- 2007 04 04 24:00

